

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～12:00, 13:00～17:00	
●フリーダイヤル ☎ 0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点を
ご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99262502 111 F

HiKOKI

取扱説明書

集じん機

8 L RP 80YB(L) (乾湿両用)

8 L RP 80YD(L) (乾式)

25 L RP 250YD(L) (乾式)

用途

- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、
穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん

〔乾湿両用のみ〕

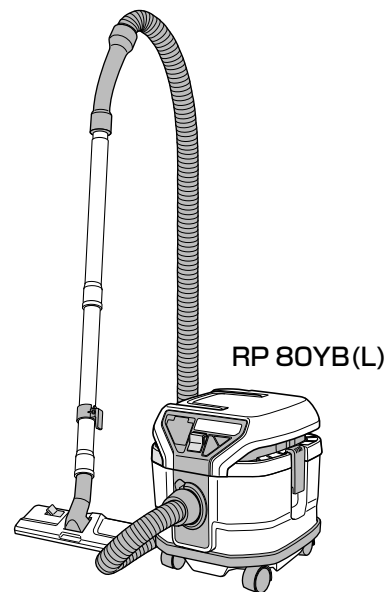
- 床にこぼした水などの液体吸引

15 L RP 150YB(L) (乾湿両用)

15 L RP 150YD(L) (乾式)

35 L RP 350YA(L) (乾式)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに

集じん機の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	3
各部の名称	5
仕様	6
標準付属品	7
別売部品	9

使い方

ご使用前の準備・点検	10
ポリ袋の取付け	12
フィルタの取付け	14
掃除機として使う	17
電動工具との接続	19
フロート機構	20
AC連動用コンセント	21
スイッチの操作	23
LEDライトの使い方	24
集じんする	25
フィルタのちり落とし	27
粉じん(水)を捨てる	28

その他

運搬・収納	30
保守・点検	32
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用する
ことはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の
性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理
または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be
sold or used in any other country. Otherwise, product may not
perform as intended. No authorized service or warranty is
available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**
表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **作業に合った集じん機を使用してください。**
指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

⚠警告

- ⑦ **集じん機は、注意深く手入れをしてください。**
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ **次の場合は、集じん機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理・保管する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、電源スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩ **油断しないで注意して作業を行ってください。**
 - 集じん機を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など注意して慎重に作業してください。
 - 集じん機からはなれて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹き出し、発煙など）に注意しながら作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑪ **損傷がないか点検してください。**
 - 使用前に、集じん機やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した集じん機やその他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチ類が故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 電源スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- ⑫ **集じん機の修理は、専門店で依頼してください。**
 - この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、本製品について、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **アース（接地）してください。**
故障や漏電のとき、感電の恐れがあります。（詳細は P.10「アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」をご参照ください。）
- ② **AC 連動用コンセントに接続できる電動工具の消費電力は強運転時 100 ～ 285 W、中運転時 100 ～ 760 W、弱運転時 100 ～ 1,050 W までです。**
上記を超える消費電力の電動工具を AC 連動用コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
- ③ **定格 15 A 以上のコンセントを使用してください。**
他の器具と併用する場合、下記 (1) ～ (3) の合計がコンセントの定格電流を超えないようにしてください。異常発熱による火災の原因になります。
(1) 本製品の定格電流
(2) AC 連動用コンセントに接続している電動工具の定格電流
(3) コンセントを併用する器具の定格電流
- ④ **以下の物は吸い込まないでください。**
 - ・金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - ・火のついた、たばこの吸いがらなど高温の物。
 - ・引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
 - ・釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - ・木片、金属、石、ひもなど。
 - ・セメント粉・トナーなど固化する物や、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
 - ・油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
 - ・水などの液体。（乾式：RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合）
火災やけがの原因になります。
- ⑤ **フィルタは正しくセットして使用してください。**
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーターが故障する原因になります。
- ⑥ **この集じん機は屋内用です。屋外で使用しないでください。**
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
- ⑦ **集じん機や電源プラグ、AC 連動用コンセントに水や油などをかけたりしないでください。**
この集じん機は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

⚠警告

- ⑧ **集じん機の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター故障などの原因になります。
- ⑨ **フロートが作動したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。**
(フロート機構付きは乾湿両用：RP 80YB(L)、RP 150YB(L) のみ)
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑩ **集じん機を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。**
感電や故障の原因になります。
- ⑪ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、集じん機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ **使用中、集じん機の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ **延長コードを使用するときは、アース線を備えた 3 心キャブタイヤケーブルを使用してください。**
アース線のない 2 心コードですと、感電の原因になります。
- ⑭ **集じん機は転倒などによる変形や破損を防止するため、静かに移動してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠警告マークについて



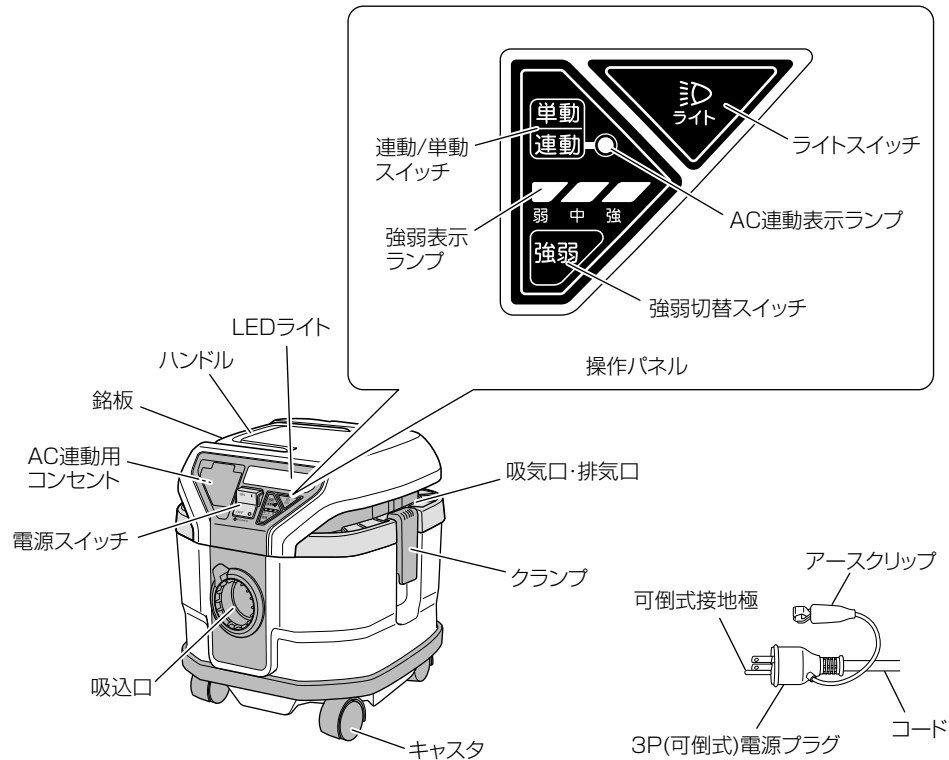
このマークのある操作・手順では、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグをコンセントにさしたまま準備や点検、部品の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

【イラストは RP 80YB(L) です】



仕 様

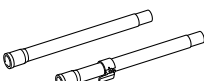
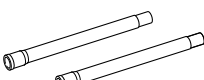
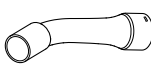
形 名	RP 80YB(L)	RP 150YB(L)	RP 80YD(L)	RP 150YD(L)	RP 250YD(L)	RP 350YA(L)	
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V						
消 費 電 力	1,140 W						
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター						
絶 縁 構 造	一重絶縁						
集 じ ん 機 能	乾湿両用		乾式専用				
集 じ ん 容 量	8 L	15 L	8 L	15 L	25 L	35 L	
吸 水 容 量※ ¹	6 L	12 L	－				
フィルタの種類	布フィルタ / 水用フィルタ		粉じん用フィルタ (プレフィルタ付)				
電 流	強 12.0 A 中 7.0 A 弱 3.9 A						
A C 連 動 用※ ² コ ン セ ント	接続できる電動工具の消費電力 強 100 W ～ 285 W 中 100 W ～ 760 W 弱 100 W ～ 1,050 W						
最 大 風 量	強 3.5 m ³ /min 中 1.8 m ³ /min 弱 1.1 m ³ /min						
最 大 真 空 度	強 22.0 kPa { 2,240 mm 水柱 } 中 7.0 kPa { 710 mm 水柱 } 弱 2.7 kPa { 275 mm 水柱 }						
ホース (内径×長さ)	φ 38 mm × 2 m		φ 28 mm × 5 m				
外形寸法	幅	331 mm	331 mm	331 mm	331 mm	390 mm	390 mm
	高 さ	361 mm	418 mm	361 mm	418 mm	555 mm	665 mm
	奥 行	364 mm	364 mm	364 mm	364 mm	469 mm	469 mm
質 量※ ³	6.8 kg	7.0 kg	7.2 kg	7.5 kg	9.8 kg	10.0 kg	
コ ー ド	アースクリップ付 3 心ケーブル 5 m						

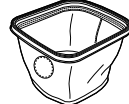
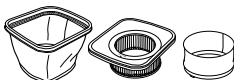
※1：吸水容量は、使用条件により異なる場合があります。

※2：AC/DC アダプタ (ET 36A) を接続してご使用の際は、連動しない場合があります。

※3：コード、付属品を除く

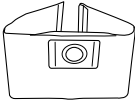
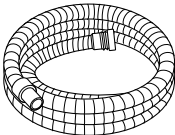
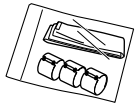
標準付属品

部 品 名	仕 様	RP 80YB(L) RP 150YB(L)	RP 80YD(L) / RP 150YD(L) RP 250YD(L) / RP 350YA(L)
ホース (内径φ38×長さ2m) (一般清掃用)		1 本	—
ホース (内径φ28×長さ5m) (電動工具との接続用) (ホースカバー付)		—	1 本
パイプホルダ		1 個	—
延長管 (パイプハンガ付)		2 本	—
延長管		—	2 本
ジョイントハンドル		—	1 個
ジョイント (H)		—	1 個
床用吸口		1 個	1 個
すき間用吸口		1 個	1 個
ポリ袋		5 枚	5 枚

部 品 名	仕 様	RP 80YB(L) RP 150YB(L)	RP 80YD(L) / RP 150YD(L) RP 250YD(L) / RP 350YA(L)
布フィルタ (本体装着)		1 個	—
水用フィルタ		1 個	—
フィルタ類 (本体装着) ・粉じん用フィルタ ・プレフィルタ ・クロスフィルタ		—	各 1 個
ジョイント (B)		—	1 個
ジョイント (C)		1 個	—
アダプタ (ゴム)		1 個	1 個
D 25 アダプタ (26 / 38 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)		—	各 1 個
D 38 アダプタ (26 / 38 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)		各 1 個	—
ホースベルト		—	3 本
収納バッグ 床用吸口、すき間用吸口などの 保管にご使用ください。		1 個	1 個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

最新の情報は、弊社ホームページ、または総合カタログをご参照ください。

部 品 名	用 途
紙フィルタ (5枚入り) [乾いた一般ごみ用] ・RP 80YB(L) / RP 80YD(L) / RP 150YB(L) / RP 150YD(L) 【コード No. 0037-3627】 [乾いた細かい粉じん用] (石こうボード、サイディング材など) ・RP 80YB(L) / RP 80YD(L) 【コード No. 0032-3703】 ・RP 150YB(L) / RP 150YD(L) 【コード No. 0031-0689】 ・RP 250YD(L) / RP 350YA(L) 【コード No. 0030-9481】	 紙フィルタごと捨てることで、 清潔にごみ捨てができます。 水は吸引できません。 紙フィルタ使用時、 RP 80YB(L) / RP 150YB(L) は 付属の布フィルタを併用して ください。 RP 80YD(L) / RP 150YD(L) / RP 250YD(L) / RP 350YA(L) は 付属の粉じん用フィルタ、プレ フィルタを併用してください。
ホース (内径φ38×長さ5m)	 内径が太いため、作業場、その 他の一般清掃するとき使用し ます。 電動工具と接続しても使用で きます。
ホースカバーセット	 ホースと電動工具のコードを 包み込み、物に引っ掛かりに くくします。
ホースバンド (呼径：φ38、φ60、φ75)	 集じんアダプタを使用する 場合、集じん機のアダプタと 接続するため使用します。
パイプホルダ (RP 80YB(L) / RP 150YB(L) 標準付属)	 パイプハンガが付いている パイプを、集じん機に収納が できます。
パイプハンガ (RP 80YB(L) / RP 150YB(L) 標準付属) 取付け用のナット M4 【コード No. 949554】、 スワボアナベねじ M4×16 【コード No. 993539】を 別途お買い求めください。	 パイプホルダとセットで集じ ん機に収納できます。
各種電動工具との接続部品	集じんアダプタやジョイント等 については、別紙「集じん機と 各種電動工具の接続」をご参照 ください。

ご使用前の準備・点検

●アース (接地)、漏電しゃ断器の確認

⚠警告

アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、取付けないでください。

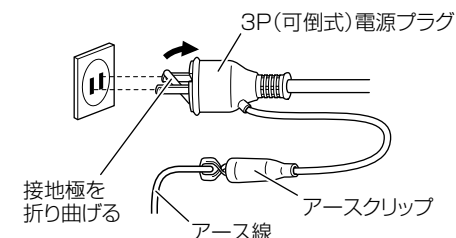
使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置 (以下、漏電しゃ断器と言います) が設置されていることを確認してください。

注 ●プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと集じん機の金属外枠との間の導通を確認してください。

●地中に接地極 (アース板、アース棒) を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。

アースクリップ付 3P (可倒式) 電源プラグはアース付 (3 ピン) コンセントに直接さし込むことでアースクリップによるアースは不要です。
アース極のない 2 極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。



●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
3.5	15
5.5	25

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

●使用電源の確認

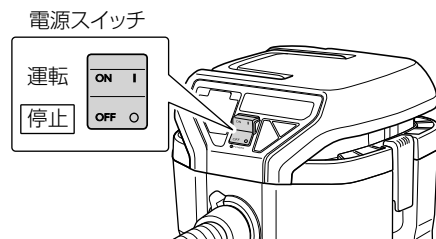
- 銘板に表示してある電源で使用してください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
- 直流電源やエンジン発電機、昇圧器などの電源で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●電源スイッチの確認

電源スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に集じん機が起動し、思わぬ事故の原因になります。

電源スイッチは、「ON」側を押すと運転し、「OFF」側を押すと停止します。

電源プラグさし込み時は、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。



●コンセントの確認

電源プラグがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

🔌 ポリ袋の取付け（ポリ袋なしでも使用できます）

ポリ袋を使用すると手を汚さずごみが捨てられます。

RP 80YB(L)、RP 150YB(L) の場合

- 1 クランプ（2 個）をはずし、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。
タンク内のフィルタ、フィルタケージを取りはずしてください。

- 2 タンク内側とポリガイドの間に、付属のポリ袋をさし込みます。
まずポリガイドの下側、次に両側面の順にさし込んでください。

- 3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。

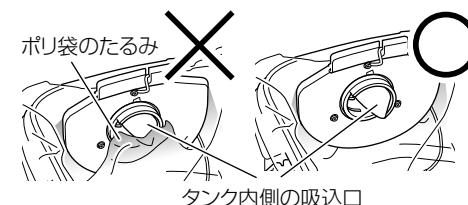
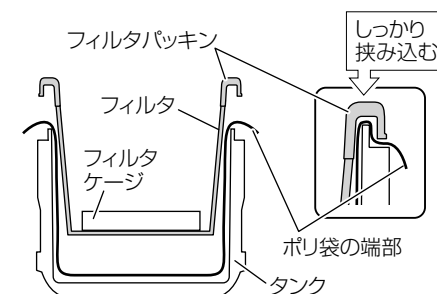
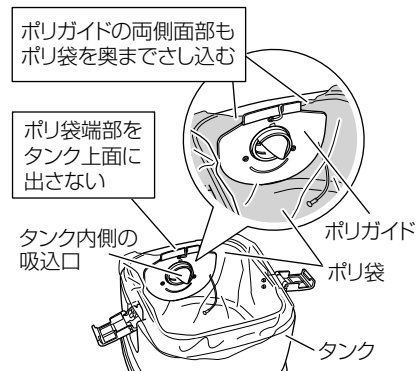
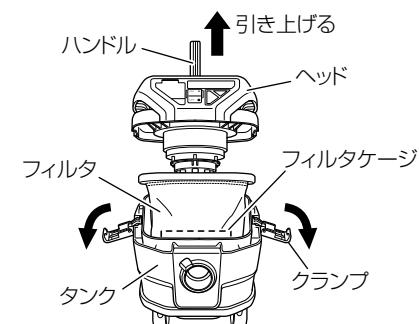
- 4 フィルタ、フィルタケージを取付けます。（P.14、15「フィルタの取付け」参照）

注 フィルタ上端のフィルタパッキンがポリ袋をしっかりと挟み込むように取付けてください。

- 注** 市販品のポリ袋は、45 L（幅 650 mm × 深さ 800 mm）が使用可能です。
なお、厚さ 0.04 mm 以上の物をご使用ください。

- 吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください。
吸込口がふさがれ、集じんできません。

- ポリ袋のたるみがタンク内側の吸引口をふさがないように、ポリ袋を取付けてください。



RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、
RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合

1 クランプ (2 個) をはずし、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。
タンク内の粉じん用フィルタ、プレフィルタ、フィルタダンパを取りはずしてください。

2 タンク内側とポリガイドの間に、付属のポリ袋をさし込みます。まずポリガイドの下側、次に両側面の順にさし込んでください。

3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。

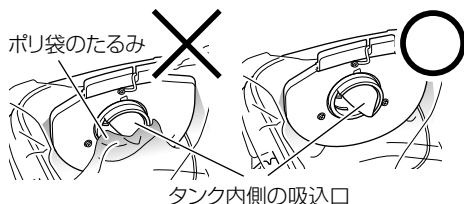
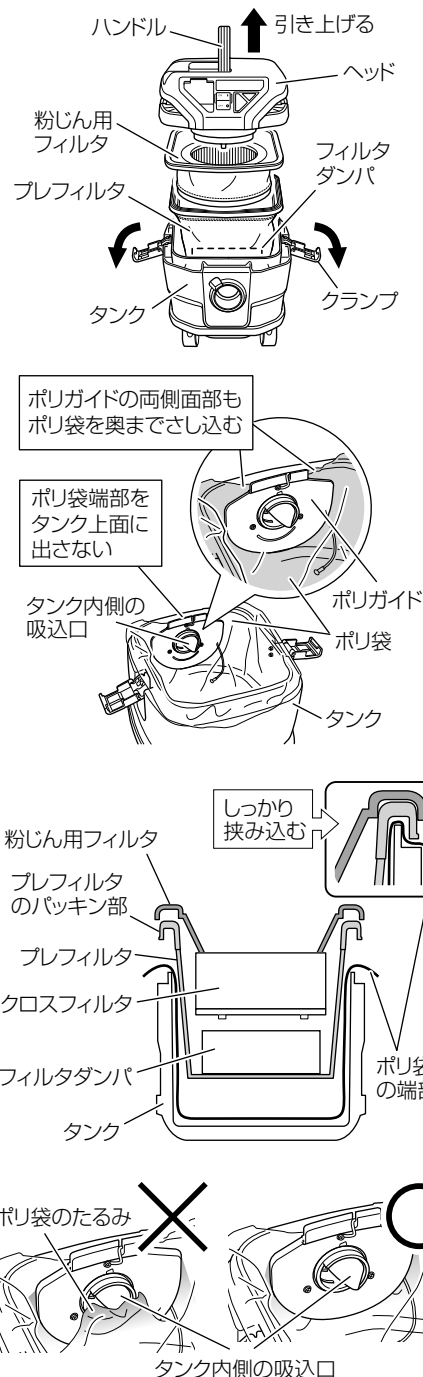
4 プレフィルタ、フィルタダンパ、粉じん用フィルタを取付けます。(P.16「粉じん用フィルタの取付け」参照)

注 プレフィルタ上端のフィルタパッキンがポリ袋をしっかりと挟み込むように取付けてください。

注 市販品のポリ袋は、45 L (幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。
なお、厚さ 0.04 mm 以上の物をご使用ください。

• 吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください。
吸込口がふさがれ、集じんできません。

• ポリ袋のたるみがタンク内側の吸引口をふさがないように、ポリ袋を取付けてください。



フィルタの取付け

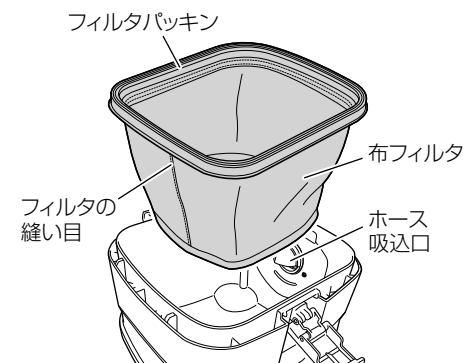
警告

フィルタは正しくセットして使用してください。
モーターが故障する原因になります。

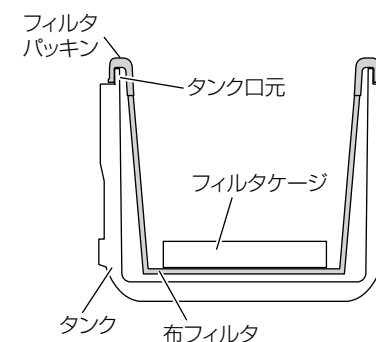
布フィルタの取付け (RP 80YB(L)、RP 150YB(L) のみ)

- 注**
- サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする際は、別売部品の紙フィルタを使用してください。
 - 布フィルタは乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも使用できます。
 - 繰り返し大量の吸水をする場合は、水用フィルタに付け替えてください。
布フィルタで繰り返し吸水すると、吸水量が著しく低下します。

1 布フィルタの縫い目を、ホース吸込口の反対側になるように組み込みます。



2 フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

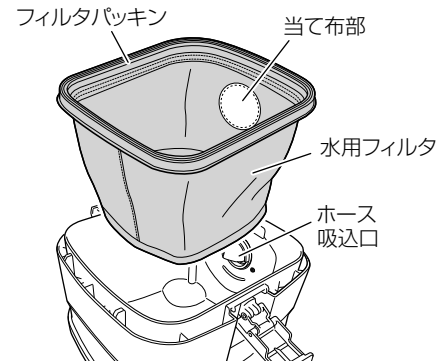


3 布フィルタの底部にフィルタケージが入っていることを確認してください。

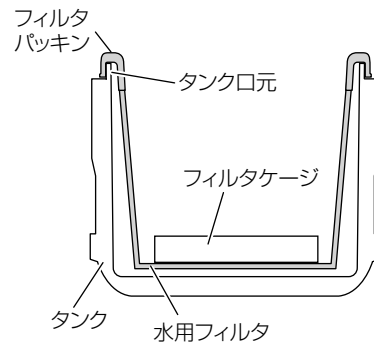
水用フィルタの取付け (RP 80YB(L)、RP 150YB(L) のみ)

- 注**
- 繰り返し大量の吸水をする場合は、水用フィルタを使用してください。
 - 水用フィルタは、布フィルタを取りはずしてから取付けてください。
 - 水用フィルタで粉じんを吸引しないでください。

- 1** 水用フィルタの当て布部をホース吸込口に合わせて組み込みます。



- 2** フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

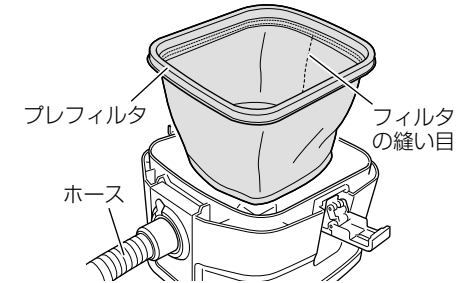


- 3** 水用フィルタの底部にフィルタケージが入っていることを確認してください。

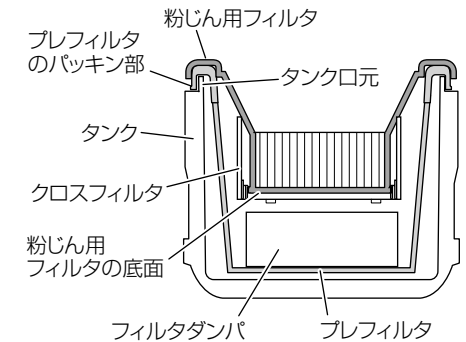
粉じん用フィルタの取付け (RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) のみ)

- 注** RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合、水の吸水ができません。

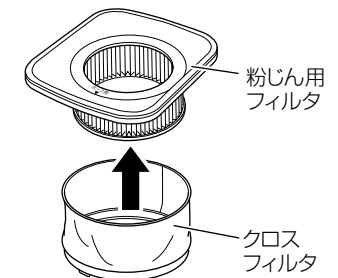
- 1** プレフィルタの縫い目をホースの反対側になるように組み込みます。



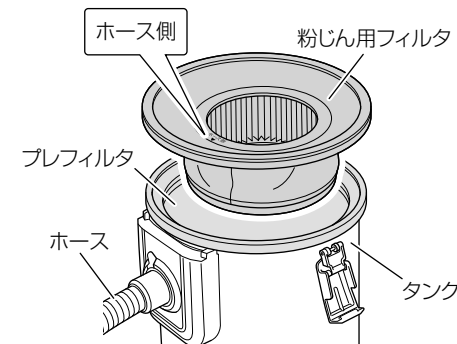
- 2** プレフィルタのパッキン部がタンク口元にかかっていることを確認してください。次にプレフィルタ底にフィルタダンパを入れてください。



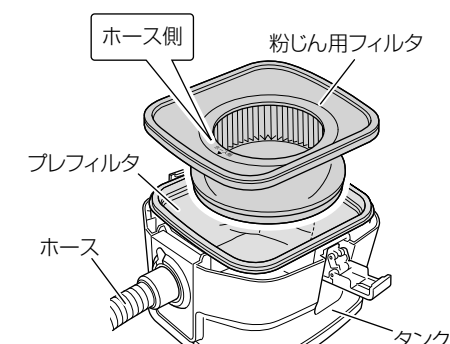
- 3** 粉じん用フィルタにクロスフィルタを表示された矢印方向からさし込み、取付けてください。



- 4** 「ホース側」の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。



RP 350YA(L) は丸形フィルタ



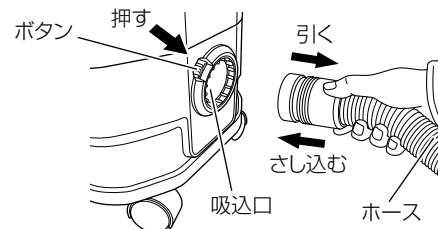
掃除機として使う

ホースに付属品を接続して使用してください。

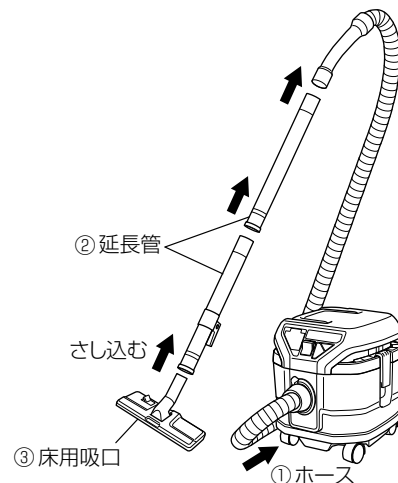
注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引いて集じん機を移動させないでください。

RP 80YB(L)、RP 150YB(L) の場合

1 付属のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまでさし込み、接続します。
ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。

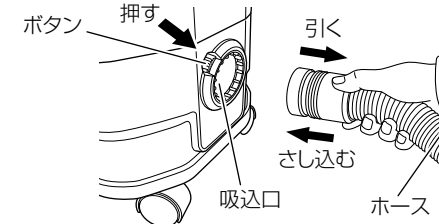


2 ① ホース
② 延長管
③ 床用吸口
の順に、矢印方向にさし込みます。
用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。

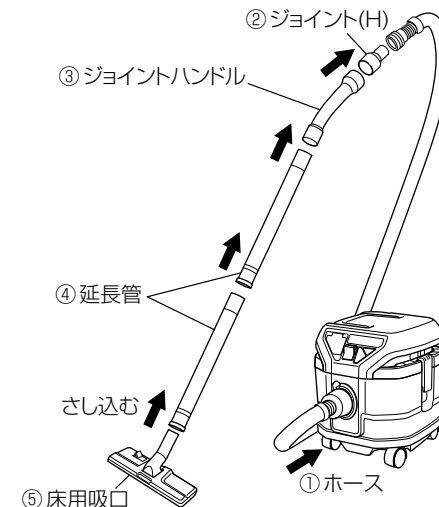


RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合

1 付属のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまでさし込み、接続します。
ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。



2 ① ホース
② ジョイント(H)
③ ジョイントハンドル
④ 延長管
⑤ 床用吸口
の順に、矢印方向にさし込みます。
用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。

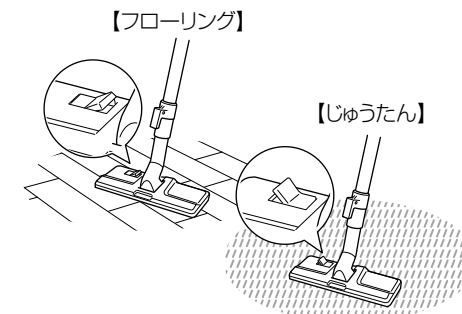


注 床などに飛散した粉じんの掃除をする際は、少しずつ吸引するようにしてください。
一度に吸引するとホースや吸込口に詰まることがあります。

床用吸口の使い方

床用吸口は用途に合わせてブラシを出し入れしてお使いください。

- フローリングや畳などはブラシを出して使用してください。
- じゅうたん、カーペットなどやわらかい場所では、ブラシを出さずに使用してください。

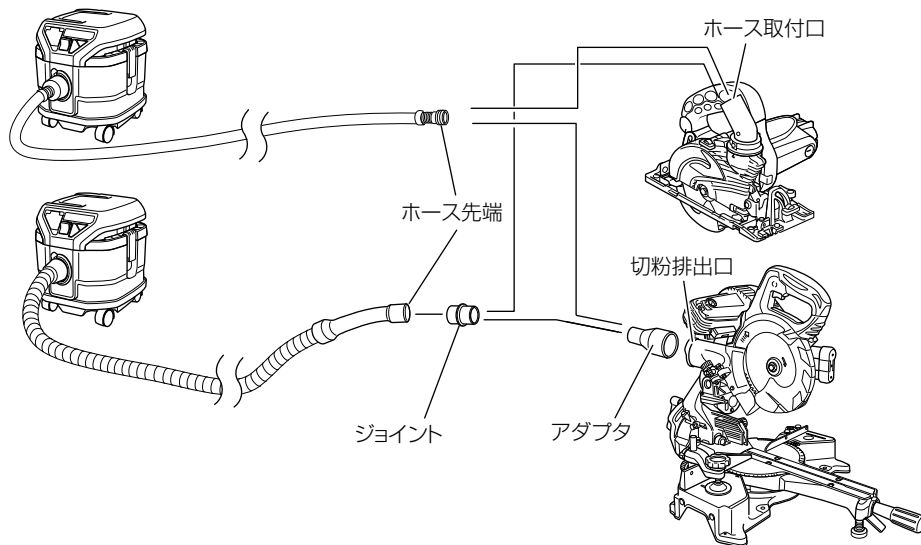


電動工具との接続

⚠ 警告

- 下記の消費電力を超える電動工具は、集じん機の AC 連動用コンセントに接続しないでください。
定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
また、集じん機の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
- 集じん機を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 W まで
- 集じん機を「中」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 760 W まで
- 集じん機を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 1,050 W まで
- 金属の研削、切断作業時に発生する火花の集じんはできません。

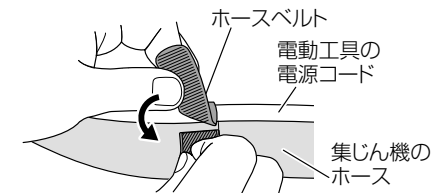
標準付属品、または別売部品のジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。
詳しくは、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご参照ください。



● ホースベルトの取付け

RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) のみ

電動工具と接続して使用する場合は、ホースと電動工具の電源コードが絡まないよう、付属のホースベルトで固定してください。
約 1 m の間隔で結束してください。



フロート機構

RP 80YB(L)、RP 150YB(L) のみ

⚠ 警告

- フロートが働いたままで、運転を続けしないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- 洗剤など発泡性の液体や泡を吸い込ませないでください。
フロートが働く前に排気口から泡が吹き出します。そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この集じん機には、一定量以上の水を吸い込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。
フロートが作動して水を吸い込まないときは、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、タンク内の水を捨ててください。

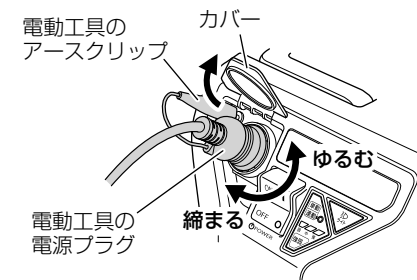
AC連動用コンセント

⚠警告

- AC連動用コンセントには、集じん機の電源スイッチ、連動 / 単動スイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。電動工具の電源プラグを AC連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。電動工具のスイッチが入っているのを知らずに電源プラグを AC連動用コンセントにさし込むと不意に電動工具が起動し、思わぬ事故の原因になります。
- 下記の消費電力を超える電動工具は、集じん機の AC連動用コンセントに接続しないでください。
定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
また、集じん機の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
集じん機を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ~ 285 W まで
集じん機を「中」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ~ 760 W まで
集じん機を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ~ 1,050 W まで
- 電動工具が一重絶縁の場合は、電動工具のアースクリップをアース端子に接続してください。(アースクリップ付 2P 電源プラグの場合)。
アースクリップをアース端子に接続しないと感電の恐れがあります。
- 電源プラグに抜け止めがかかっている状態で、コードを引かないでください。
電源プラグを左に回し、抜け止めをはずしてから電源プラグを抜き取ってください。

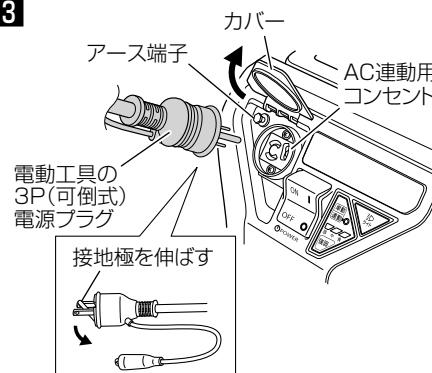
- 1 カバーを持ち上げ、電動工具の電源プラグを AC連動用コンセントにさし込み、右に回します。回らなくなった位置で、電源プラグの抜け止めがかかります。
電源プラグを抜く場合は、左に回してから引き抜いてください。

1 2



- 2 電動工具が一重絶縁品のアースクリップ付 2P 電源プラグの場合は、電動工具のアースクリップをアース端子に接続してください。

3



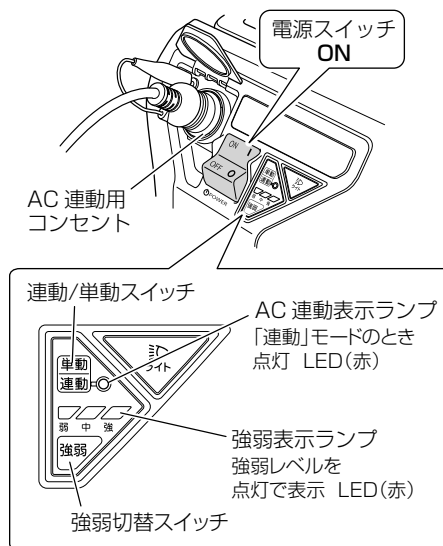
- 3 電動工具が一重絶縁品の 3P(可倒式)電源プラグの場合は、接地極端子を伸ばしてから AC連動用コンセントにさし込み、右に回してください。

- 注**
- AC連動用コンセントに巻線トランスが組み込まれている電動工具を接続すると、約5秒間連動しますが、故障ではありません。
 - AC連動用コンセントに AC/DC アダプタ (ET 36A) を接続して使用する際は、連動しない場合があります。

スイッチの操作

電動工具と連動して運転する

- ① 電源スイッチを「ON」側に押します。
- ② 連動 / 単動スイッチを押して、「連動」モードに設定します。
(「連動」モードのとき、LED(赤)が点灯)
- ③ 強弱切替スイッチを押して、吸込力を切り替えます。
接続する電動工具の消費電力に合わせて「強」「中」「弱」を選択します。
(強弱レベルは、LED(赤)が点灯して表示)
- ④ 接続した電動工具のスイッチの「ON」/「OFF」操作で、集じん機も連動して運転・停止します。
なお、電動工具のスイッチを切った後も、ホース内にたまった粉じんを吸い込むために集じん機は数秒間運転してから停止します。



単動で運転する

- ① 電源スイッチを「ON」側に押します。
- ② 連動 / 単動スイッチを押して、「単動」モード(LED 消灯)を選択します。
- ③ 強弱切替スイッチを押して、用途に合わせて「強」「中」「弱」を選択します。
- ④ 停止させるときは、電源スイッチを「OFF」側に押します。

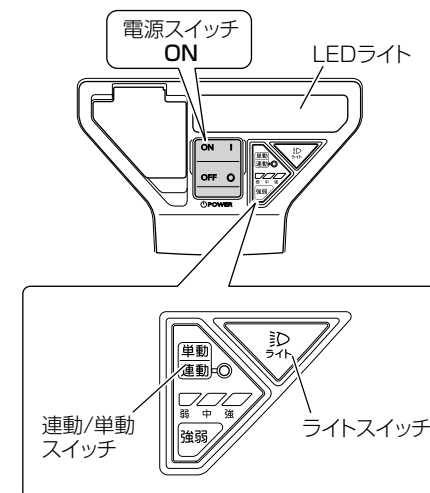
LED ライトの使い方

電源スイッチが「ON」側の状態で、ライトスイッチを押すとLEDライトが点灯・消灯します。

また、連動 / 単動スイッチが「連動」モードに設定されていれば、集じん機を稼働させない状態でもライトスイッチの操作で点灯・消灯ができます。

⚠ 注意

LEDライトをのぞきこんで、直接ライトの光を目に当てないでください。
LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。



集じんする

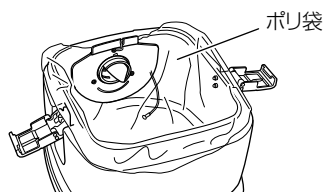
- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 床にこぼした水などの液体吸引 **RP 80YB(L)、RP 150YB(L)のみ**

⚠警告

- ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。急に集じん機が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

1 ポリ袋を取付ける

必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。
(P.12「ポリ袋の取付け」参照)



2 フィルタを確認する

タンク内に正しく取付けてあることを確認します。
(P.14「フィルタの取付け」参照)

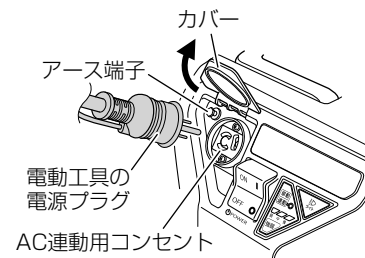
注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引いて集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。

3 用途に応じホースや付属品などを接続する

- タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。掃除機として使用する場合は、付属のジョイントハンドルや延長管などを接続します。
(P.17「掃除機として使う」参照)
- 電動工具と連動する場合は、必要に応じてジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。
(P.19「電動工具との接続」参照)

4 AC連動用コンセントに接続する

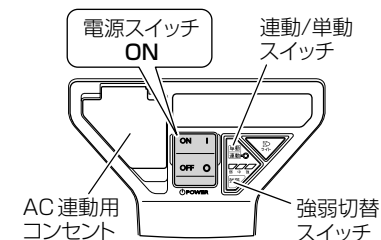
- 電動工具の電源プラグをさし込み、右に回して抜け止めをかけます。
- アースクリップ付 2P 電源プラグの場合は、アースクリップをアース端子に接続してください。
(P.21「AC連動用コンセント」参照)



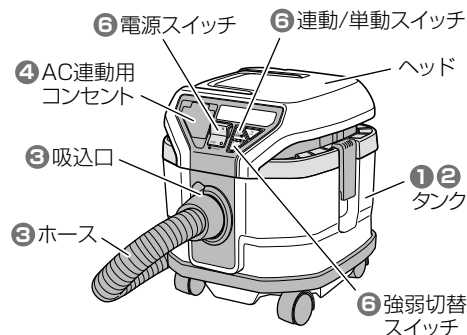
5 集じん機の電源プラグをコンセントにさし込む

6 モードを選択し、運転・停止する

- 電源スイッチの「ON」側を押します。
- 連動/単動スイッチを押してモードを選択します。
- 強弱切替スイッチを押して、強弱レベルを選択し運転します。
- 電源スイッチの「OFF」側を押すと停止します。
(P.23「スイッチの操作」参照)



- 注**
- 電源スイッチを「OFF」側にした後、再び「ON」にすると、連動/単動スイッチおよび強弱切替スイッチは電源スイッチを「OFF」にしたときの状態で復帰します。
 - 「連動」モードのときは、ホース内の粉じんを吸い込むため、電動工具のスイッチを切った後も集じん機は数秒間運転してから停止します。





フィルタのちり落とし

RP 80YB(L)、RP 150YB(L) の場合

⚠ 警告

粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

⚠ 注意

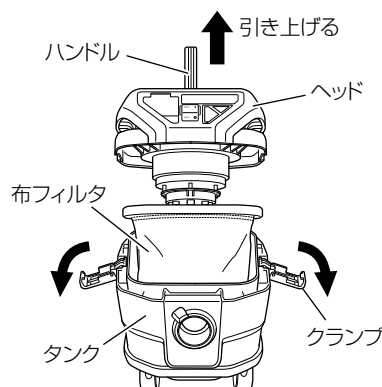
粉じんが満杯になっていると吸込力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に粉じんは早めに捨ててください。

運転中に吸込力が低下した場合、布フィルタのちり落としをしてください。

- 1 クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

- 2 布フィルタがタンクに組み込まれた状態で、フィルタの内側面を数回はたいて付着した粉じんを落とします。吸込力が回復します。

- 3 ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。



RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合

集じんを停止すると、ちり落としされる機構となっています。

作業途中で吸い込みが悪くなったときは、一度、集じんを停止してください。

再度作業を開始しても吸い込みが回復しないときは、粉じんが一杯になっていますので、P.29「粉じん(水)を捨てる」RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L)の場合」の手順に従って粉じんを捨ててください。



粉じん(水)を捨てる

RP 80YB(L)、RP 150YB(L) の場合

⚠ 警告

- 乾湿両用の場合ヘッドを取りはずす前に、タンク内に液体が入ったまま集じん機を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーターが故障する原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

- 1 クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

- 2 布フィルタやフィルタケージを軽くはたいて、付着した粉じんを落としてから、タンクから取りはずします。

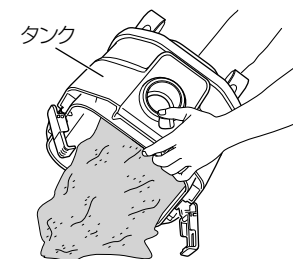
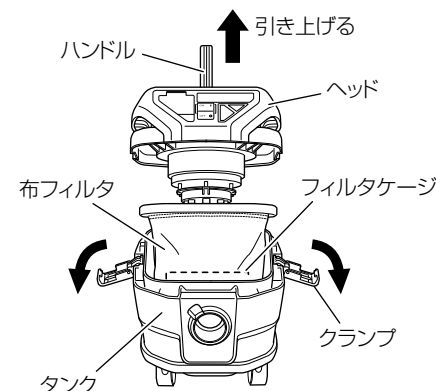
- 注**
- 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
 - ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。

- 3 タンクを倒し、粉じんを捨ててください。ポリ袋を使用している場合は、口を閉じて取り出してください。

- 4 布フィルタ、フィルタケージを取付けます。次に、ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。(P.12「ポリ袋の取付け」参照)(P.14「フィルタの取付け」参照)

⚠ 注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
- 使用後は毎回、粉じんを捨てるようにして、集じん機、フィルタなどを常に清潔に保ってください。吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。クランプが破損する原因になります。



⚠ 警告

粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

1 クランプ (2 個) をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 粉じん用フィルタを取り出し後、プレフィルタの内側面を数回軽くはたいて、付着した粉じんを落とします。
次にタンクからプレフィルタを取り出します。

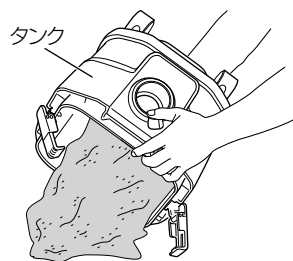
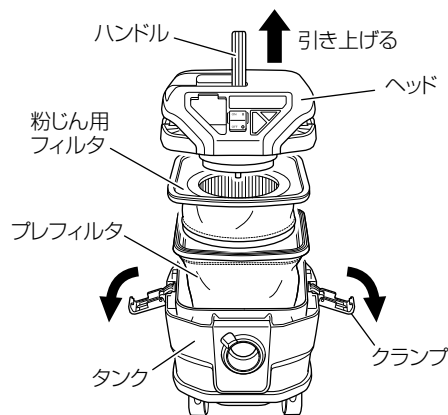
注 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。

3 タンクを倒し、粉じんを捨ててください。
ポリ袋を使用している場合は、口を閉じて取り出してください。

4 粉じん用フィルタ、プレフィルタを取付けます。
次に、ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。
(P.13「ポリ袋の取付け」
"RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合" 参照)
(P.16「粉じん用フィルタの取付け」参照)

⚠ 注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
- 使用後は毎回、粉じんを捨てるようにして、集じん機、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。
クランプが破損する原因になります。



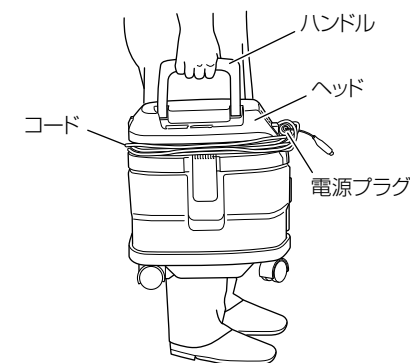
🚚 運搬・収納

● ハンドルの使い方・電源コードの収納方法

運搬・移動する場合はハンドルを持ってください。ハンドルを使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

コードはヘッド下部に巻き付けて収納できます。巻き付けたコードの内側に電源プラグを引っ掛けてください。

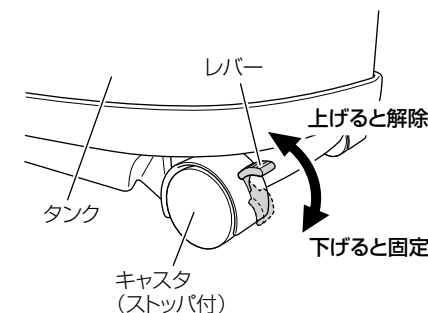
集じん機を運転する場合は、巻き付けたコードをすべてほどいてください。



● キャスタの固定・解除

キャスタのストッパで車輪の回転を固定・解除できます。

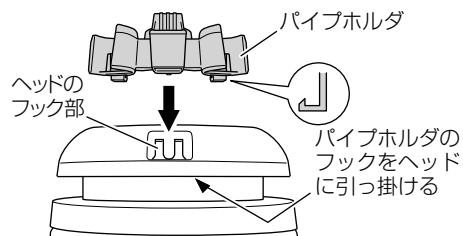
注 集じん機を移動する場合は、ストッパが解除されていることを確認してください。



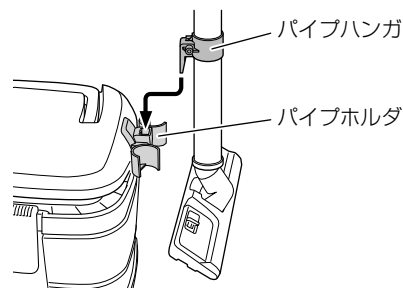
●集じん機の収納

注 RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) は、パイプハンガとパイプホルダは付属していません。別途お買い求めください。

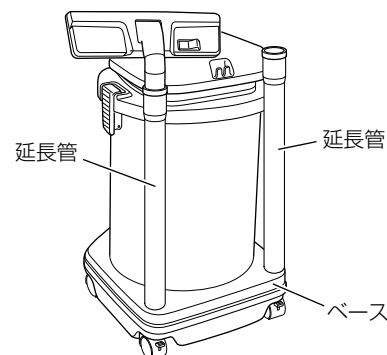
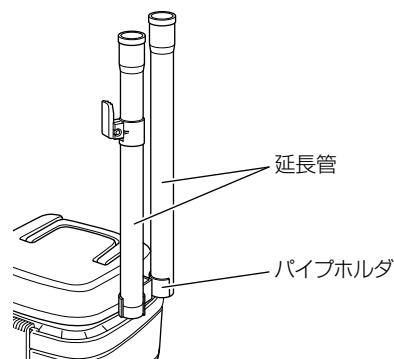
1 付属のパイプホルダを図のようにしてフック部に取付けます。



2 掃除の途中で作業を中断したいときは、パイプハンガをパイプホルダに引っ掛けてください。



3 集じん機を収納するときは、図のように延長管をパイプホルダにさし込むとコンパクトに収納できます。



RP 350YA(L) の場合

保守・点検

⚠警告

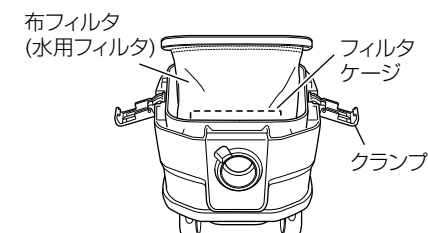
- ぬれた手で作業しないでください。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

●フィルタの手入れ

RP 80YB(L)、RP 150YB(L) の場合

布フィルタ・水用フィルタは、目詰まりすると吸込力が著しく低下しますので、フィルタケージを持って、フィルタを軽くはたき、付着した粉じんをこまめに取り除いてください。

布フィルタは水にぬれたまま粉じんを吸引すると、すぐ目詰まりして吸引力が低下します。定期的に水でもみ洗いをし、陰干しで十分乾燥させてから使用してください。



- 注**
- 布フィルタ・水用フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
 - 布フィルタ・水用フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は交換してください。
 - 布フィルタはブラシで強くこすらないでください。

RP 80YD(L)、RP 150YD(L)、RP 250YD(L)、RP 350YA(L) の場合

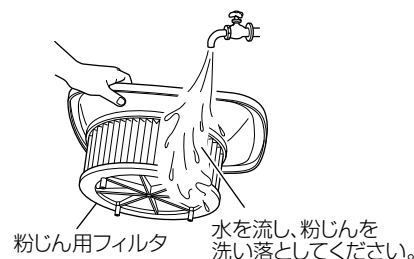
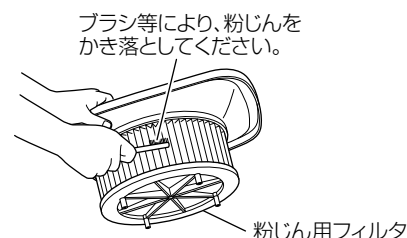
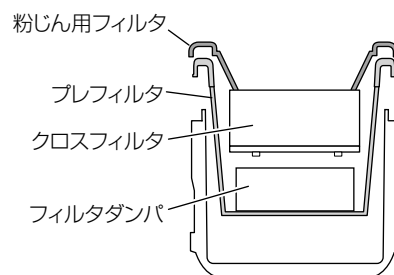
粉じん用フィルタ、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパが目詰まりすると、吸込力が著しく低下しますので、付着した粉じんは、こまめに取り除いてください。

① ちり落としは、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパを手で軽くはたきます。圧縮空気を吹きかけると簡単に行えます。

② 粉じん用フィルタはブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をします。

粉じん用フィルタは定期的(1～2か月に1回以上)に水洗いによる清掃を行い粉じん除去してください。

なお、水洗い後は、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。



注 ●各フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。

●各フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は交換してください。

●プレフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くはたく程度にしてください。

ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

●粉じん用フィルタは、床などにたたきつけないでください。

樹脂部が割れる原因になります。

●集じん機の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

●モーターの取扱いについて

モーターに、油および水をつけないよう十分注意してください。

●清掃する

集じん機の汚れは、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取ってください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●集じん機や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

注 ●お子様の手が届く場所、持ち出せる場所

●軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所

●温度が急変する場所、直射日光の当たる場所

●引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所